

研 究 活 動 報 告

報告期間 平成30（2018）年1月～12月

文学研究科

【哲学専攻】

1月27日（土） 14：00～16：00 6406教室	平成29年度哲学専攻修士論文口述試験を実施した。今回の修士論文提出者は、博士前期課程2年生の5名であった。1人あたり、発表・質疑応答合わせて50分の時間を設けた。教員7名のほか、院生9名の出席があった。受験者は指導教員をはじめとした出席者からの質問に答え、各自の修士論文の成果を報告した。
2月3日（土） 11：00～17：00 6405教室	平成29年度哲学専攻修士論文研究報告会を実施した。博士前期課程1年生の6名が発表を行った。各自に35分の発表時間を与え、次年度の修士論文提出に向けた研究の進捗状況を報告した。本会は大学院生が中心となって企画したものであり、院生11名が参加した。今後の修士論文執筆の計画について、学生同士での活発な議論が行われた。
4月4日（月） 16：00～17：00 8302教室	平成30年度の哲学専攻新年度ガイダンスを実施した。大学院の専任教員5名のほか、学部の教員2名、院生8名が出席した。ガイダンスでは、各教員よりそれぞれの講義内容や指導方針について説明があり、大学院哲学専攻の年間スケジュールを確認した。学生からは、それぞれの研究テーマ等について自己紹介が行われた。ガイダンス終了後は新入生歓迎会を行い、親睦を深めた。
7月7日（土） 10：00～16：30 6320教室	平成30年度哲学専攻修士論文中間発表会を開催した。発表時間は質疑応答を含めて各学生45分間で、本年度修士論文を提出する予定のある博士前期課程7名の学生が発表を行った。教員は5名、院生は発表者を含めて12名が参加した。修士論文の完成と質的向上のため、出席者から多角的な意見が出され、活発な議論が交わされた。
10月27日（土） 14：00～18：20 6218教室	第28回白山哲学会を挙行了。本年度は大学院博士後期課程在学中の中村元紀氏による研究発表が行われた。その後、本年度から新たに文学部哲学科助教に着任した高橋厚氏、同じく着任した松浦和也氏による公演が行われた。全体を通じて21名の参加者があり、それぞれの発表・講演について活発な質疑応答が交わされた。学会の終了後、学内レストランにて懇親会が執り行われた。

【インド哲学仏教学専攻】

<p>7月4日（水） 13時～18時 白山キャンパス 5号館4階5404教室</p>	<p>春学期院生研究発表会並びに講演会：新入生（村田啓輔〔博士前期課程〕）および交換留学生（李鴻）研究計画；院生研究発表：<u>カムピラ・アイラダー</u>（博士前期課程2）「パーリ文献における四諦十六行相の研究」、<u>是松宏明</u>（博士前期課程2）「ジャイナ教におけるdhyānaの研究—空衣派Śubhacandra（約11世紀）著Jñānārṇavaにおけるpiṇḍasthadhyāna」、<u>針貝京子</u>（博士前期課程2）「『成就法の花環』No.110「金剛ターラー成就法」について」、<u>谷釜智洋</u>（博士後期課程1）「大正期を中心に活動した真宗大谷派「仏教学会」の研究—「仏教学会」が「御大典」待受けに果たした役割—」、<u>梅田愛子</u>（博士後期課程2）「『維摩経』の菩薩」、<u>崎山忠道</u>（博士後期課程3）「『稲芋経』漢訳諸本の構成とその思想」、<u>藤井明</u>（博士後期課程3）「インド密教における肉の売却—『ブータダーマラ・タントラ』内の修法を中心として—」、講演：齊藤明先生（国際大学院大学教授）：「如来蔵（tathāgatagarbha）とは何か—『宝性論』の如来蔵解釈考—」</p>
<p>11月28日（水） 13時～17時 白山キャンパス 5号館4階5404教室</p>	<p>秋学期院生研究発表会並びに講演会：院生研究発表：<u>蓮見太朗</u>（博士前期課程2）「『ブツダヴァンサ』におけるabhisamaya-paricchedaの研究」、<u>星宮康子</u>（博士前期課程2）「インドのāyus論」、<u>高木洋介</u>（博士前期課程2）「無立場の立場—『四百論』第16章について」、<u>藤井明</u>（博士前期課程3）「ヒンドゥー教版Bhūtaḍāmaratantraの性質特徴」、<u>伊藤頼人</u>（博士前期課程3）「『マハーバーラタ』15巻35章におけるダルマ神」、講演：森雅秀先生（金沢大学教授）：「女性の姿をした仏たち」</p>

【日本文学文化（国文学）専攻】

<p>1月24日（水） 13：40～18：05 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>2017年度 修士論文発表会の開催 修士論文提出者の発表、教員と博士前期・後期の学生および校友による活発な質疑応答が行われた。 【発表】（全員博士前期課程2年生） 入退室自由で参加者40名 1. 久保田 一弘 「かいもちひ」の研究 —『徒然草』を中心に— 2. 堀田 匡秀 『徒然草』研究 —神社関連章段に関する考察— 3. 田村 妙子 日本中世文化における茶の研究 —茶勝負の諸相— 4. 浅尾 みゆき 奈良絵本研究 —『小萩かもと』考— 5. 金井 陽子 近世における『竹取物語』の享受の研究 —田中大秀の古註釈書を中心に— 6. 眞杉 泰輝 俳僧文暁考 —『花屋日記』を軸として— 7. 村上 智子 松尾芭蕉研究 —西行の求道と関わって— 8. 永沢 美奈 立原道造研究 9. 高橋 千寿 明治期以降の外国語の受容と変容に関する考察— 海事専門用語におけるカタカナ表記に着目して—</p>
<p>7月4日（水） 13：00～17：25 白山キャンパス 6307教室</p>	<p>2018年度 修士論文中間報告会開催 本年度修士論文提出者予定の中間報告、教員と博士前期・後期の学生および校友による活発な質疑応答が行われた。 【発表】（全員博士前期課程2年生） 入退室自由で参加者40名 1. 山崎 直紀 助詞の研究 2. 八木 啓 唱歌「紅葉」における古典作品による影響について 3. 二口 やよい 瞽女研究 4. 善教 祐 日本近代文学とそのマンガ化 5. 本田 愛里 宮沢賢治研究 6. 薬師寺 美穂 須賀敦子論 7. 劉 耀中 中島みゆき論 —歌詞の中のノスタルジアについて— 8. 蓮見 菜那子 柳美里研究</p>

<p>7月21日（土） 13：00～17：30 白山キャンパス 6B12教室</p>	<p>東洋大学日本文学文化学会 2018年度大会 開催 研究発表4件、「生協の白石さん」として夙に名高い白石昌則氏（現東洋大学生生活協同組合白山店店長）を迎えての講演で構成され、多数の参加者をえた。参加者数約80名</p> <p>【研究発表】 13：05～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性作家のSF小説における「ユートピア」とフェミニズム論 サウット・キアラ（博士後期課程2年） 2. 近世における『竹取物語』の受容—小山儀から田中大秀へ— 金井陽子（博士後期課程1年） 3. 須賀敦子論—『ヴェネツィアの宿』にみる若き日の葛藤 薬師寺美穂（博士前期課程2年） 4. 柳美里研究—「フルハウス」における家族 蓮見菜那子（博士前期課程2年） <p>【講演】 16：00～ ひとつこと＝プラスアルファ 東洋大学生生活協同組合白山店店長 白石 昌則</p>
--	--

【中国哲学専攻】

<p>3月17日（土） 東洋大学 白山キャンパス 6号館4階6410教室</p>	<p>《午前の部》10時00分～</p> <p>【博士前期課程 修士論文構想発表】</p> <p>樊玉文（東洋大学大学院博士前期課程）「楽府詩『陌上桑』の移り変わり」 于淼（東洋大学大学院博士前期課程）「老舎の戦時中小説の特徴と変化を考察する」 李慧淳（東洋大学大学院博士前期課程）「王朔作品に登場する主人公の恋人像について」</p> <p>【修士論文成果発表1】</p> <p>龐芮（東洋大学大学院博士前期課程）「郁達夫初期作品に描かれた女性像」 車暁威（東洋大学大学院博士前期課程）「魯迅の散文詩集『野草』の生命哲学について」 常天天（東洋大学大学院博士前期課程）「巴金『寒夜』研究 一好人にもたらされる悲劇の意味」</p> <p>《午後の部》13時00分～</p> <p>【修士論文成果発表2】</p> <p>豊田尚徳（東洋大学大学院博士前期課程）「康有為の大同思想形成の過程」</p> <p>【研究発表】</p> <p>黒田祐介（東洋大学大学院博士後期課程）「朱熹における「赤子の心」と「大人」について」 黒崎恵輔（早稲田大学大学院博士後期課程）「『礼記』四十九篇にまつわる文献学的諸問題の再検討 一古典としての確立を見据えて一」 播本崇史（東洋大学文学部非常勤講師）「明末天主教と「聖」について」</p> <p>【基調講演】 15時00分～</p> <p>小路口聡（東洋大学文学部教授）・播本崇史（東洋大学文学部非常勤講師）「語り合う＜良知＞たち 一王畿の良知心学と講学活動一」 橋本恭子（一橋大学言語社会研究科博士研究員）「占領下香港の世界文学空間 一島田謹二と戴望舒の出会いを中心に一」</p> <p>参加者：32名</p>
--	--

<p>7月28日（土） 東洋大学 白山キャンパス 6号館2階6201教室</p>	<p>《午前の部》10時40分～</p> <p>【博士前期課程 新入生研究構想】</p> <p>劉雨佳（東洋大学大学院博士前期課程）「史鉄生作品における文化大革命」</p> <p>楊若林（東洋大学大学院博士前期課程）「張愛玲による都市の人生」</p> <p>【博士前期課程 修士論文構想発表】</p> <p>樊玉文（東洋大学大学院博士前期課程）「楽府詩『陌上桑』の系譜について」</p> <p>于淼（東洋大学大学院博士前期課程）「老舎の小説『四世同堂』における葛藤する登場人物に分析する」</p> <p>李慧淳（東洋大学大学院博士前期課程）「王朔小説における作中人物の言葉づかいについて」</p> <p>《午後の部》13時00分～</p> <p>【研究発表】</p> <p>黒田祐介（東洋大学大学院博士後期課程）「朱熹における「赤子の心」と「大人」について」</p> <p>余祺琪（東洋大学大学院博士後期課程）「羅近溪における四つの「悟」について」</p> <p>志村敦弘（東洋大学大学院博士後期課程）「王守仁の聖人論—朱熹の聖人論と比較して—」</p> <p>水野あゆ（東洋大学大学院博士後期課程）「『児童世界』と『小朋友』の内容変遷」</p> <p>土田秀明「王陽明・致良知論の構造に関する一考察」</p> <p>【基調講演】15時30分～</p> <p>大野公賀（東洋大学法学部教授）「大正日本における断食ブームと李叔同（弘一法師）の出家」</p> <p>参加者数：40名</p>
--	---

【英文学専攻】

<p>5月30日（水） 15：00～17：00 白山キャンパス 6206教室</p>	<p>「春季院生発表会」 出席したすべての在籍の院生が今後の研究テーマ・目的・方針・抱負などについて報告を行った。それぞれの報告に対して、有益なコメントが各教員から出された。参加人数：院生4名（博士前期2、博士後期2）、教員7名。</p>
<p>11月14日（水） 17：00～19：30 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>「秋季院生発表会」 12月1日の「第52回大学院英文学専攻協議会研究発表会」で研究発表予定の院生3名が予行演習も兼ねて研究発表を行った。それぞれの発表の後、活発な質疑応答がなされ、研究発表の内容・質を高めるのに役立ったと思われる。発表予定のない院生もショート・スピーチを行った。「参加人数：院生4名（博士前期1、博士後期3）、教員6名。</p>
<p>12月1日（土） 13：00～20：00 日本女子大学</p>	<p>「第52回大学院英文学専攻協議会発表会」 例年同様、142名という多くの参加者が集い、真剣な研究発表と熱のこもった議論や質疑応答が交わされた。本学から参加した院生は、3名（博士前期1、博士後期2）であり、3名とも研究発表を行い、高い評価を得た。教員は5名が出席し、2名がアドバイザーとして参加した。夜には懇親会があり、本学から出席した教員と院生全員が参加し、こちらも盛会であった。</p>

【史学専攻】

4月4日（火） 東洋大学 白山キャンパス	白山史学会 新入生歓迎「歴史学への招待」を開催。 博士後期課程 上村正裕「奈良時代における女性の力」
5月12日（土） 東洋大学 白山キャンパス	白山史学会卒論発表会 博士前期課程 岸晟大「戦国期佐竹氏の対北条氏外交」
6月15日（金） 東洋大学 白山キャンパス	東洋大学大学院文学研究科史学専攻公開授業にて研究報告。 博士後期課程 小林哲也「幕末維新期の政局と土佐藩—『寺村左膳道成日記』と『神山邦康日記』を中心に—」
6月30日（土） 東洋大学 白山キャンパス	白山史学会第46回総会・第55回大会 博士後期課程 小池辰典「北陸の将軍足利義材と諸大名—紀伊の畠山尚順を中心に—」 博士後期課程 小林哲也「幕末維新期の政局と土佐藩—『寺村左膳道成日記』と『神山邦康日記』を中心に—」
6月30日（土） 静岡県立大学 草薙キャンパス	日韓次世代学術フォーラム第15回国際学術大会 博士後期課程 中村祐也「近代における朝鮮民衆と電信線—1885～1894年を中心に—」
7月7日（土） 東洋大学 白山キャンパス	東洋大学大学院 文学研究科史学専攻研究発表会 博士前期課程 高橋和裕「戦国大名の徳政」 博士後期課程 程楽「京張鉄路の建設決定過程の考察—商辦建設計画から官辦建設の決定へ—」 博士後期課程 中村祐也「近代朝鮮の民衆と電信線架設—1885～1894年を中心に—」 博士後期課程 小林栄輝「安史の乱後の李光弼麾下の漢人武将—江南諸叛乱平定後の武将の経途—」
7月14日（土） 明治大学 駿河台キャンパス	明治維新史学会例会 博士後期課程 小林哲也「幕末維新期の政局と土佐藩—『寺村左膳道成日記』と『神山邦康日記』を中心に—」
7月21日（土） 明治大学 駿河台キャンパス	歴史学研究会日本古代史部会第20回卒業論文報告会 博士前期課程 山田湧太「古代豪族の改姓と律令官人—物部氏・膳氏を中心に—」

11月25日（日） 東京大学 本郷キャンパス	第116回史学会大会（東洋史部会） 博士後期課程 程楽 「京張鉄路の建設決定過程の考察—商辦建設計画から官辦建設の決定へ—」
12月15日（土） 東洋大学 白山キャンパス	東洋大学アジア文化研究所第4回公開研究例会 博士後期課程 程楽 「義和団事件後のロシアの動向と京張鉄路の建設決定」 博士後期課程 小林栄輝 「唐後半期における武官の一考察」

【教育学専攻】

2月3日（土） 14：00～17：30 白山キャンパス 8204教室	<p>大学院修士論文報告会</p> <p>下記の大学院生が各論文の成果および進捗状況（研究目的と方法、研究の成果と課題）を報告し、質疑応答および討議を行った。博士前期課程在籍者10名、教員15名の計25名が参加した。</p> <p>1. 修士論文提出者による成果報告</p> <ul style="list-style-type: none">・呉 蘇 「日本のごみリサイクル及び小学校ごみ環境教育から中国への示唆」・鈴木智裕 「中学校社会科歴史的分野の世界史領域と公民的分野の連携に関する考察—現代の政治・経済体制が成立した背景に着目して—」・川上浩希 「授業における「ずれ」と学習の変化に関する研究—上田薫の「ずれ」に着目して—」・陈 思婷 「子供の自主的な遊びを中心とした保育に関する研究—「りんごの木」子どもクラブの「ミーティング」を通して—」・今井智貴 「模擬授業における役割演技が児童役の学生に与える効果」・畠野真理子 「往還型教育実習で得られる体験的な学びや気づきの抽出—往還型教育実習を経験した現職教員の語りの分析—」 <p>2. 修士論文提出予定者による中間報告</p> <ul style="list-style-type: none">・山口万葉子 「病弱教育とレジリエンス—レジリエントな病弱児とはどのような児童・生徒か—」・加藤 伎 「「総合的な学習の時間」における探究的な学習と教員の役割—J.デューイの教育思想からの検討—」・川村美香子 「看護師養成課程の大学化とその課題」・李 ブン 「大学におけるキャリア教育についての一考察—日中の大学キャリアガイドブックの検討を通じて—」
---	---

<p>8月7日（火） 17：00～19：00 白山キャンパス 8204教室</p>	<p>大学院修士論文中間報告会</p> <p>下記の修士論文提出予定者が、各論文の進捗状況（研究目的と方法、研究の成果と課題）を報告し、質疑応答および討議を行った。博士前期課程在籍者4名、教員13名の計17名が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口万葉子 「特別支援学校における教師のレジリエンス」 ・ 加藤 伎 「「総合的な学習の時間」における探究的な学習と教員の役割－J.デューイの教育思想からの検討－」 ・ 川村美香子 「看護師養成課程の大学化とその課題」 ・ 李 ブン 「大学におけるキャリア教育についての一考察－日中の大学キャリアガイドブックの検討を通じて－」
---	---

【英語コミュニケーション専攻】

5月23日（水） 白山キャンパス 8602教室	大学院・英語コミュニケーション専攻第一回研究発表会 博士前期課程2名、博士後期課程1名による、研究発表会が開催された。教員5名、院生8名が参加した。発表者の研究発表に関して、質疑応答では、多角的な意見が出され、活発な議論が交わされた。
10月24日（水） 白山キャンパス 8602教室	大学院・英語コミュニケーション専攻第二回研究発表会 博士前期課程4名による、研究発表会が開催された。教員5名、院生8名が参加した。研究発表の内容について、活発な議論が交わされた。

社会学研究科

【社会学専攻】

4月23日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会第1回定例研究会 報告者：左地亮子（東洋大学准教授） 題目：ノマドがツーリストと巡りあうとき—フランス市民社会の只中に現れるジプシーの「旅の共同体」について 出席者：院生博士前期7名、院生博士後期3名、教員5名、外部1名 計16名
5月28日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会第2回定例研究会 報告者：伊藤眞（首都大学東京名誉教授） 題目：ブギス社会における性とトランスジェンダー——ビッスとチャラバイ 出席者：院生博士前期7名、院生博士後期2名、教員5名、外部10名 計24名
6月18日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会第3回定例研究会 報告者：阿部朋恒（首都大学東京大学院博士後期課程） 題目：中国雲南省の農村における人口移動の動向——仕事をめぐる若者の選択を中心に 出席者：院生博士前期6名、院生博士後期2名、教員6名、外部4名 計18名
7月23日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会第4回定例研究会 報告者：ゴロウイナ・クセーニヤ（東京大学特任講師） 題目：日本におけるロシア人の住まい——モノを語る、モノが語る 出席者：院生博士前期6名、院生博士後期2名、教員7名、外部5名 計20名

<p>7月28日（土） 13：00～17：00 白山キャンパス 5403教室</p>	<p>平成30年度白山社会学会大会 第1部 研究発表の部 13：40～15：10 ・山口和海（西九州大学大学院 院生） 13：40～14：10 「地域資源（間伐材）活用「木になる紙」によるグリーン経済活性化－佐賀市の施策を中心に－」 ・渡辺芳（東洋大学） 14：10～14：40 「野宿生活と施設利用－川崎市の一時宿泊施設の利用者記録から－」 ・牧野修也（神奈川大学） 14：40～15：10 「日本農村社会学草創期における社会学と民俗学との関係性－竹内利美の研究を手がかりに－」 第2部 学会企画の部 15：30～16：30 【講演】・北村英哉（東洋大学） 「差別の源泉に関する心理制度学的探究－嫌悪的差別を焦点に」 総会 16：40～17：10 出席者：発表者3、院生0、教員5、元院生6、元教員、計14名</p>
<p>10月15日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室</p>	<p>白山人類学研究会第5回定例研究会 報告者：戴寧（首都大学東京大学院博士後期課程） 題目：日中国際結婚家庭におけるバイリンガル教育にむけた言語的実践 出席者：院生博士前期5名、院生博士後期2名、教員6名、外部8名 計21名</p>

<p>11月17日（土） 18：15～20：30 白山キャンパス 10号館A301教室</p>	<p>白山人類学研究フォーラム 『インドネシア外島部における森・土地をめぐる現場のポリティックス——企業、先住民、移住者の動きから』</p> <p>プログラム：</p> <p>13：00～13：10 趣旨説明 寺内大左（東洋大学・助教）</p> <p>13：10～13：55 報告者：中島成久（法政大学・教授）／コメンテーター：水野広祐（京都大学・教授） 「ジャンビ州の森の民オラン・リンバの先住民権について——巨大アブラヤシ企業への抵抗と適応戦略」</p> <p>13：55～14：40 報告者：笹岡正俊（北海道大学・准教授）／コメンテーター：安部竜一郎（日本インドネシアNGOネットワーク運営委員） 「ランドグラブリングを進める企業の社会的責任に関する試論——インドネシア南スマトラ州の植林事業地における農民の『不法占拠者化』に着目して」</p> <p>14：50～15：35 報告者：小泉佑介（上智大学アジア文化研究所・共同研究所員）／コメンテーター：永田淳嗣（東京大学・准教授） 「移住者によるアブラヤシ栽培への参入と経営面積の拡大プロセス ——リアウ州北部の旧バガン・シネンバ郡を事例として」</p> <p>15：35～16：20 報告者：寺内大左（東洋大学・助教）／コメンテーター：宮内泰介（北海道大学・教授） 「カリマンタンのコモング（慣習林）の2つの軌跡 ——木材伐採開発と石炭開発に対する焼畑民の対応から」</p> <p>16：30～17：30 総合討論報告者：左地亮子さん（東洋大学准教授） 出席者：院生博士前期7名、院生博士後期3名、教員5名、外部1名 計16名</p>
---	--

<p>12月3日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室</p>	<p>白山人類学研究会第6回定例研究会 --18：15-18：20 Opening Remarks --18：20-19：00-- [Topic 1] The Quiet Revolution in Malaysia : Changing Mindsets as New Radical Politics Dr. Goh Beng Lan Associate Professor, Department of Southeast Asian Studies, The National University of Singapore (NUS) --19：10-19：40-- [Topic 2] Between the Sultan and the Scientist : Disconcerted Knowledge of Mt. Merapi Disaster Dr. Fadjjar I. Thufail Research Center for Regional Resources, Indonesian Institute of Sciences 19：40— Discussion 出席者：院生博士前期5名、院生博士後期1名、教員5名、外部4名 計 15名</p>
--	---

【社会心理学専攻】

1月19日（金） 1604教室	博士論文公聴会（金子、新井田） 教員をはじめ、博士後期課程および前期課程の院生（30名ほど）が上記2名の博士論文の概要発表に参加し、質疑を行った。
1月26日（金） 8301教室	韓国の成均館大学校との合同研究会 教員による口頭発表、および大学院生によるポスター発表を行った。参加者は約40名であった。一日をとおして、活発な議論が行われた。夕方からは親睦会が開かれた。
1月27日（土） 8301教室	成均館大学校の大学院生と当大学の大学院生（博士課程後期が中心）との合同ミーティングが開催され、共同研究の可能性についてディスカッションを行った。参加者は15名であった。
2月4日（日） スカイホール	修士論文発表会（小越、徐、深瀬、本山） 教員をはじめ、博士後期課程および前期課程の院生（30名ほど）が上記4名の修士論文の概要発表に参加し、質疑を行った。
2月24日（土） 8301教室	韓国の翰林大学校との合同研究会 教員による口頭発表、および大学院生によるポスター発表を行った。参加者は約40名であった。一日をとおして、活発な議論が行われた。
3月1日（木） Hyatt Regency Atlanta	Gender Preconference in the 19th annual convention of the Society for Personality and Social Psychology（博士後期課程1名：倉矢） 上記の国際会議にて口頭発表を行った。
3月1日（木）～ 3日（土） Atlanta Marriott Marquis	The 19th annual convention of the Society for Personality and Social Psychology（博士後期課程4名：陸、倉矢、金子、杳澤；博士前期課程1名：小越） 上記の国際会議にてポスター発表を行った。
4月13日（金） 8301教室	新入生（博士後期課程1名、博士前期課程5名）を含む大学院生27名全員と教員が集まり、心理学研究での実験および調査を行う際に考慮しなければならない研究倫理に関して、各教員から説明が行われた。
4月20日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士後期課程2名：陸、鷹阪） 博士論文の進捗状況について、1名につき30分の発表と20分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。

4月28日（土） 8301教室	英国ケント大学のAyse Uskul先生による講演会 "Socio-Cognitive Processes in Cultural and Economic Context" 上記の講演会に大学院生および教員が32名参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACEにアップし、指導教員のチェックを受けた。
5月11日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士後期課程3名：倉矢、池間、入山） 博士論文の進捗状況について、1名につき30分の発表と20分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
5月24日（木）～ 27日（日） Hilton San Francisco Union Square Hotel	The 30th Association for Psychological Science annual convention（博士後期課程3名：陸、倉矢、滝口） 上記の国際会議にてポスター発表を行った。
5月25日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士前期課程6名：井上、内山、王、河合、崔（天）、崔（凌）） 修士論文の進捗状況について、1名につき20分の発表と10分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
6月1日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士前期課程5名：佐藤、蘇、高橋、代、田（楊）） 修士論文の進捗状況について、1名につき20分の発表と10分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
6月8日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士前期課程：田（蘭）、范、李、新井、石橋、大田、丁、山口） 修士論文の進捗状況について、1名につき20分の発表と10分の質疑を行った。M1は修士論文の研究計画について、1名につき7分の発表と3分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
6月15日（金） 8301教室	大阪大学の高橋英之先生による講演会「ロボット工学と心理学の接点」 上記の講演会に大学院生および教員が34名参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACEにアップし、指導教員のチェックを受けた。

6月23日（土） 京都橋大学	日本健康心理学会第31回大会（博士前期課程1名：王） 上記の学会にてポスター発表を行った。
7月6日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士後期課程2名：沓澤、滝口） 博士論文の進捗状況について、1名につき30分の発表と20分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
7月20日（金） 1402教室	大学院生による研究進捗報告会（大学院生全員） 教員と大学院生の全員（38名）が参加し、研究の進捗についてポスター発表を行った。前半と後半の2グループに分かれ、教員との質疑応答やお互いにディスカッションを行った。
8月28日（火）～ 29日（水） 追手門学院大学	日本社会心理学会第59回大会 上記の学会にて、研究発表（口頭、ポスター）などを行った。主な参加者は、教員では安藤、大島、尾崎、桐生、北村、戸梶、堀毛であり、大学院生は、鷹阪、倉矢、沓澤、滝口、高橋（綾）、佐藤、内山、崔（凌）であった。
9月21日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士前期課程2年生14名：井上、内山、王、河合、崔（天）、崔（凌）、佐藤、蘇、高橋、代、田（楊）、田（蘭）、范、李） 修士論文の進捗状況について、1名につき20分の発表と5～10分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
9月25日（火）～ 27日（木） 仙台国際センター	日本心理学会第82回大会 シンポジウムの企画・話題提供、研究発表などを行った。主な参加者は、教員では安藤、大島、尾崎、桐生、片山、北村、久保、戸梶、堀毛、松田、山田であり、大学院生は、鷹阪、倉矢、入山、池間、沓澤、滝口、佐藤、内山、河合、高橋（綾）であった。
10月12日（金） 8301教室	東洋大学の山田一成先生による講演会「消費者行動について」 上記の講演会に大学院生および教員が33名参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACE にアップし、指導教員のチェックを受けた。
10月19日（金） 8301教室 6B14教室	日韓共同セミナー 教員による口頭発表（8301教室）、および大学院生によるポスター発表（6B14教室）を行った。参加者は約40名であった。一日をとおして、活発な議論が行われた。夜には懇親会が行われた。

<p>11月24日（土） 1506教室</p>	<p>社会行動研究会：京都大学の柳澤邦昭先生による講演会「死関連思考の脳情報デコーディング」</p> <p>上記の講演会に大学院生および教員が33名参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACEにアップし、指導教員のチェックを受けた。</p>
<p>12月7日（金） 8301教室</p>	<p>研究進捗報告（博士前期課程2年生4名：内山、王、崔（凌）、代）</p> <p>修士論文の進捗状況について、1名につき20分の発表と5～10分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。</p>
<p>12月8日（土）～ 9日（日） 奈良文化会館</p>	<p>日本犯罪心理学会第56回大会</p> <p>シンポジウムの企画・話題提供、研究発表などを行った。主な参加者は、教員では桐生であり、大学院生は、入山、池間、滝口、井上、蘇、田（楊）であった。</p>
<p>12月14日（金） 8301教室</p>	<p>研究進捗報告（博士前期課程2年生4名：井上、河合、佐藤、蘇）</p> <p>修士論文の進捗状況について、1名につき20分の発表と5～10分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。</p>
<p>12月21日（金） 8301教室</p>	<p>研究進捗報告（博士前期課程2年生5名：高橋、田（楊）、田（蘭）、范、李）</p> <p>修士論文の進捗状況について、1名につき20分の発表と5～10分の質疑を行う。なお、終了後に懇親を深めるため、忘年会を実施する。</p>

【福祉社会システム専攻】

1月25日（木）～ 26日（金） 白山キャンパス	修士課程最終試験（修士論文ないし特定課題研究論文の提出者に対する口述試験）の実施。学生1名につき30分の口述試験を行った。1月25日、修士課程学生4名。1月26日、修士課程学生5名。教員11名。
3月23日（金） 日本武道館 白山キャンパス	午前中：卒業式 午後：学位記授与式（修士課程修了生8名）
4月1日（日） 白山キャンパス	新入生ガイダンス（修士課程新入生3名） 教員2名。
9月12日（水） 白山キャンパス	中間報告会。報告者1名。教員7名。
9月15日（土） 白山キャンパス	午前中：学位記授与式（修士課程修了生1名） 教員2名。

法学研究科

【私法学専攻】

1月31日（水） 10：30～13：00 8302教室	修士論文口述審査 (私法学専攻博士前期課程は3名の修士論文について審査を行った)
3月23日（金） 13：10～14：00 8205教室 (公法・私法合同)	大学院学位記授与式（博士前期課程私法学専攻修了生：3名） 大学院生活等に関する修了生アンケート実施 修了生のネットワーク構築について情報収集
4月1日（日） 13：30～14：30 私法学専攻 8304教室	大学院新入生ガイダンス（博士前期課程私法学専攻：2名、博士後期課程私法学専攻：2名）
6月19日（火） 16：00～17：40 8号館7階 特別会議室	平成30年度第1回博士論文中間報告会（博士後期課程私法学専攻：3名）
11月13日（火） 16：30～18：00 8号館7階 特別会議室	平成30年度修士論文中間報告会 平成30年度終了予定の博士前期課程2年生2名が報告を行い、参加教員からのアドバイスを受けた
11月13日（火） 18：00～20：00 8号館1階 トレスダイニング	短期海外招聘教授であるMichael Zwanzger（ライプチッヒ大学）氏と大学院生、大学院担当教員との懇親会を開催。
11月14日（水）～ 20日（火） 各演習授業教室	法学研究科授業相互聴講実施
11月22日（木） 16：30～19：00 1号館2階1202教室	短期海外招聘教授であるMichael Zwanzger氏による特別講演会「多面的契約によるコンソーシアム型分散台帳型システムの構成」を実施

12月3日（月） ・5日（水） 12：10～12：50 8205教室・8504教室	大学院生活等に関する個別相談会 執行部3名が希望学生から大学院生活について相談を受ける。
12月18日（火） 16：30～ 8号館7階 特別会議室	平成30年度第2回博士論文中間報告会

【公法学専攻】

1月31日（水） 10：30～13：00 8303教室	修士論文口述審査 (公法学専攻博士前期課程は7名の修士論文について審査を行った)
3月23日（金） 13：10～14：00 8205教室 (公法・私法合同)	大学院学位記授与式（博士前期課程公法学専攻修了生：7名） 大学院生活等に関する修了生アンケート実施。 修了生のネットワーク構築について情報収集。
4月1日（日） 13：30～14：30 私法学専攻 8305教室	大学院新入生ガイダンス（博士前期課程公法学専攻：5名、博士後期課程公法学専攻：1名）
6月19日（火） 16：00～17：40 8号館7階 特別会議室	平成30年度第1回博士論文中間報告会（博士後期課程公法学専攻：4名）
11月13日（火） 16：30～18：00 8号館7階 特別会議室	平成30年度修士論文中間報告会 平成30年度終了予定の博士前期課程2年生3名が報告を行い、参加教員からのアドバイスを受けた。
11月13日（火） 18：00～20：00 8号館1階 トレスダイニング	短期海外招聘教授であるMichael Zwanzger（ライプチッヒ大学）氏と大学院生、大学院担当教員との懇親会を開催。
11月14日（水）～ 20日（火） 各演習授業教室	法学研究科授業相互聴講実施。
11月22日（木） 16：30～19：00 1号館2階1202教室	短期海外招聘教授であるMichael Zwanzger氏による特別講演会「多面的契約によるコンソーシアム型分散台帳型システムの構成」を実施。

12月3日（月） ・5日（水） 12：10～12：50 8205教室・8504教室	大学院生活等に関する個別相談会 執行部3名が希望学生から大学院生活について相談を受ける。
12月18日（火） 16：30～ 8号館7階 特別会議室	平成30年度第2回博士論文中間報告会

経営学研究科

【経営学専攻】

2月2日（金） 9：00～16：00、 3日（土） 9：00～11：30 白山キャンパス 8号館8304教室	平成29年度経営学専攻修士論文口述試験を実施し、受験生は18名であった。
8月1日（水） 9：00～16：00 白山キャンパス 8号館8203教室	平成30年度経営学専攻博士前期課程の中間報告会（第一回）を実施し、対象の院生は12名であった。
10月3日（水） 13：00～13：50 白山キャンパス 8号館8305教室	平成30年度経営学専攻博士後期課程の公聴会を実施し、報告の院生は1名であった。
11月7日（水） 9：15～16：00 白山キャンパス 8号館8602教室	平成30年度経営学専攻博士前期課程の中間報告会（第二回）を実施し、対象の院生は13名であった（うち1名は、10月31日（水）11：30～12：00、白山キャンパス8号館8205教室で実施）。

【ビジネス・会計ファイナンス専攻】

1月20日（土） 10：00～17：00 白山キャンパス 8302教室	平成29年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（企業家・経営幹部養成コース、中小企業診断士登録養成コース）「修士論文・特定課題研究論文口述試験」を実施し、受験生は15名であった。
1月20日（土） 18：15～18：50 白山キャンパス 8206教室	平成29年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文口述試験」を実施し、受験生は2名であった。
1月26日（金） 18：15～19：00 白山キャンパス 8206教室	平成29年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文第1回中間報告会」が開催され、平成30年9月修了予定者1名が発表した。
3月23日（金） 13：20～14：00 白山キャンパス 8204教室	平成29年度（3月修了）学位記授与式が行われ、ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程17名に学位記が授与された。
5月28日（月） 18：15～19：00 白山キャンパス 8602教室	平成30年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文第2回中間報告会」が開催され、平成30年9月修了予定者1名が発表した。
7月17日（火） 13：00～14：00 白山キャンパス 8603教室	平成30年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士後期課程「博士論文第1回中間報告会」が開催され、1名が発表した。
7月25日（水） 18：15～18：45 白山キャンパス 大学院セミナー室 6	平成30年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文口述試験」を実施し、受験生は平成30年9月修了予定者1名であった。
7月26日（木） 18：15～20：00 白山キャンパス 8602教室	平成30年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文第1回中間報告会」が開催され、3名が発表した。

8月4日（土） 9：00～16：00 白山キャンパス 8601教室	平成30年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（企業家・経営幹部養成コース、中小企業診断士登録養成コース）「修士論文・特定課題研究論文第1回中間報告会」が開催され、14名が発表した。
9月15日（土） 9：00～10：00 白山キャンパス 125ホール	平成30年度（9月修了）学位記授与式が行われ、ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程1名に学位記が授与された。
10月3日（水） 13：00～14：00 白山キャンパス 8602教室	平成30年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士後期課程「博士学位請求論文に関する公開研究会（公聴会）」が開催され、1名が発表した。
11月10日（土） 9：00～16：00 白山キャンパス 8206教室	平成30年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（企業家・経営幹部養成コース、中小企業診断士登録養成コース）「修士論文・特定課題研究論文第2回中間報告会」が開催され、14名が発表した。
11月29日（木） 19：00～20：30 白山キャンパス 8602教室	平成30年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文第2回中間報告会」が開催され、3名が発表した。

【マーケティング専攻】

<p>2月3日（土） 13：00～15：00 8206教室</p>	<p>博士前期課程修了予定者4名の口述試験を行った。報告20分、質疑10分で行われ、すべての報告終了後、主指導教員、副指導教員による慎重な議論ののちに、合否を判定した。</p>
<p>4月1日（日） 13：30～15：00 8301教室 8303教室</p>	<p>8301教室に於いて30分間経営学研究科新入生全員に対するガイダンスを行った。その後、8303教室に移動し、マーケティング専攻博士前期課程入学者6名に対するガイダンスを行った。教員は演習を担当する7名の教員全員が参加し、学生の希望する指導教員との面談をしながら副指導教員を決定した。その後、主・副指導教授は学生に対し個別に初回の講義・演習に関し説明した。</p>
<p>8月1日（水） 10：30～13：00 8305教室</p>	<p>第1回 修士論文中間報告を実施し、博士前期課程2年生5名が報告を行った（報告15分程度、質疑10分）。博士前期課程1年生4名、教員6名が参加した。5名の報告者に対して、参加された大学院教員から、多くの質問がなされた。そして、また有益なアドバイスも多くなされた。夏季休暇中のさらなる修士論文の進展が見込まれた。</p>
<p>11月7日（水） 10：30～13：00 8202教室</p>	<p>第2回 修士論文中間報告を実施し、博士前期課程2年生5名が報告を行った（報告20分、質疑10分）。博士前期課程1年生4名、教員9名が参加した。2016年度から中間報告会を2度実施しており、よりきめ細かい指導を行っている。8月実施の第1回中間報告会では、修士論文の方向付け、全体的な内容の確認等の一般論的な指摘が主に行われた。一方、今回の中間報告会では、より具体的な内容に踏み込んだ質疑応答が行われた。</p>

経済学研究科

【経済学専攻】

1月22日（月） 16：30～18：00 白山キャンパス 8号館演習室3	第1回外部講師による特別講義を開催、約1時間半。 講師：中国湖南科技学院経済与管理学院准教授 袁 岳駟氏 テーマ：「中国における民間資本調達の地域格差に関する実証分析」 教員2名、学生13名が参加し、活発な質疑応答が行われた
1月27日（土） 13：00～15：30 白山キャンパス 8号館演習室2、3	2018年度修士論文口述試験。論文提出者11名（李口氏、姜思思氏、高翔氏、孔徳毅氏、譚静氏、伯文婷氏、樽谷弾氏、郝怡瑤氏、倉持悠佑氏、孫舫氏、丁莉氏）について、各学生による報告の後、試験官教員より質問を行う。評価及び研究科委員会の審議を経て、これら11名の修士論文を合格とした。
6月14日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8204教室	論文発表会（第1回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。 (1) 陸 海天（M2）「エコノミーホテルの価格競争分析」 (2) 須川 翔太（M2）「ソーシャルゲームに関する消費者選考について」 (3) 伊藤 翼（M2）「障害者雇用と企業の生産性」 教員6名、学生18名が参加し、活発な質疑応答が行われた。
6月21日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8204教室	論文発表会（第2回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。 (1) 戴 卓君（M2）「日本の経済政策から見た中国中小企業の融資問題」 (2) ホウ 天龍（M2）「中国西北総合経済区における国際的生産流通ネットワークを構築の可能性について」 (3) 葉 青（M2）「中国戸籍制度改革の評価：農村労働力需給の視点から」 教員6名、学生16名が参加し、活発な質疑応答が行われた。

<p>6月28日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8204教室</p>	<p>論文発表会（第3回）（M2、D3の修士論文中間報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。</p> <p>(1) 種 柯如（M2）「中国の自動車産業組織の経済学 産業組織」 (2) 朱 翔宇（M2）「欧米日の炭素排出量取引制度と中国への啓示」 (3) 水村 陽一（D3）「規制改革による産業活性化と革新-活動～ドイツ手工業分野 規制改革の全容～」</p> <p>教員6名、学生14名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>7月23日（月） 16：30～18：00 白山キャンパス 8204教室</p>	<p>第2回外部講師による特別講義を開催、約1時間半。</p> <p>講師：東京大学名誉教授、東洋文庫研究員 中兼 和津次氏 テーマ：「開発経済学的視点で中国経済をどう学ぶのか」</p> <p>教員2名、学生12名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>10月11日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8204教室</p>	<p>論文発表会（第1回）（M1の修士論文報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。</p> <p>(1) 青山 直樹（M1）「拡大生産者責任と企業の社会的責任 - 容器包装サイクル法を題材とする環境と経済の両立のための考察 - 」 (2) 陶 司晨（M1）「中国エコカー産業における税収政策とR&D支出の関係について」 (3) トウ 雅文（M1）「日中韓FTA設立の可能性に関する分析 - 駆け引きモデルを用いて」</p> <p>教員6名、学生17名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>10月18日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8204教室</p>	<p>論文発表会（第2回）（M1の修士論文報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。</p> <p>(1) 王 爽（M1）「監査論 - 期待ギャップの存在 - 」 (2) 吉田 拓矢（M1）「産業・労働者の異質性を考慮した賃金のマクロ的推計」 (3) 郝 韵（M1）「日本と中国の電子商取引市場に関する比較分析」</p> <p>教員6名、学生18名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>

<p>10月25日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8204教室</p>	<p>論文発表会（第3回）（M1の論文報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。</p> <p>(1) 呉 学涯（M1）「税収優遇政策が中小企業のイノベーションに与える影響：浙江省を例として」</p> <p>(2) 梁 嘉瑩（M1）「女性労働力率の影響要素についての分析 - M字カップの深さの変動から」</p> <p>(3) 曾 浩然（M1）「中国における営業税から増値税への変更が企業財務パフォーマンスに対する影響：江蘇省の実証分析を基に」</p> <p>教員6名、学生17名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>11月8日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8204教室</p>	<p>論文発表会（第4回）（M1の修士論文報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。</p> <p>(1) トウ 尚敖（M1）「中国における贅沢品と需要と消費市場に関する実証研究」</p> <p>(2) 董 放（M1）「中国東北地域における男女賃金格差問題」</p> <p>(3) 常 嘉利（M1）「非営利組織における情報開示のダイナミックゲームモデルの分析」</p> <p>教員6名、学生18名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>11月15日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8204教室</p>	<p>修士論文発表会（第1回）（M2、M3の修士論文最終報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。</p> <p>(1) 佐藤 賢佑（M3）「少子高齢化対策の国際比較」</p> <p>(2) 陸 海天（M2）「エコノミーホテルの価格競争分析」</p> <p>(3) 須川 翔太（M2）「ソーシャルゲームに関する消費者選考について」</p> <p>(4) 伊藤 翼（M2）「障害者雇用と企業の生産性」</p> <p>教員6名、学生16名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>

<p>11月22日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8204教室</p>	<p>修士論文発表会（第2回）（M2、M3の修士論文最終報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。</p> <p>(1) 種 柯如（M2）「金融政策を中心とした日本のバブル崩壊から中国への啓示」</p> <p>(2) 戴 卓君（M2）「日本の経済政策から見た中国中小企業の融資問題」</p> <p>(3) ホウ 天龍（M2）「中国西北総合経済区における国際的生産流通ネットワークを構築の可能性について」</p> <p>(4) 葉 青（M2）「中国戸籍制度改革の評価：農村労働力需給の視点から」</p> <p>教員7名、学生18名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>11月29日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8204教室</p>	<p>論文報告会（第1回）（D1の論文報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。</p> <p>(1) 肥田 親治（D1）「特定産業におけるブランド戦略の有用性についての研究 - 携帯電話メーカーの商品戦略を考察 - 」</p> <p>(2) 孔 徳毅（D1）「貿易・サービス・地域・金融システムから見た人民元の国際化」</p> <p>教員5名、学生18名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>

【公民連携専攻】

1月30日（火） 大手町サテライト	成果報告会。修了生、一般他70名が参加。ゼミ等での活動報告のほか、今回より優秀論文賞受賞院生からも報告を行うこととした。
7月以降 大手町サテライト	サウンディングゼロ。計15回。自治体向け無料相談会。広く普及しているサウンディングの前段階として東洋大学独自の仕組みで開始した。HPで募集し全国の自治体から希望を募った。相談を受ける場合は、専攻長および修了生2名が参加した。
10月25日（木） サンケイプラザ	第13回国際PPPフォーラム。米国、ポルトガル、日本の公的不動産プロジェクト関係者から基調講演を実施し、専攻長他がパネルディスカッションに参加。企業、自治体関係者他約200名が参加。
10月29日（月） サンケイプラザ	省インフラ研究会セミナー。自治体、企業関係者向けに省インフラ関係企業が有する技術、サービスをプレゼンテーションする機会。毎年開催している。約100名が参加。

国際学研究科

【国際地域学専攻】

<p>4月28日（土） 同志社大学</p>	<p>「アフリカ・アジア研究イニシアチブ」(AASI) 第1回学術集会にて以下の発表を行った。</p> <p>Xolani Sewyn Msomi (博士前期課程) “Inclusive Urban Management and Changing Spatial Landscapes : The Case of Street Vendors in Warwick Junction, Durban South Africa”</p> <p>Angel Unathi Bolosha (博士前期課程) “Urban Land Use Management and the Backyard Shacks of South Africa”</p> <p>Mor Lo (博士前期課程) “Women's Groups as a Catalyst for Women Access to Land Ownership in Senegal : Case Study of Fassle Group of the Village of Keur Moussa”</p>
<p>6月1日（金） 川崎市産業振興会館</p>	<p>一般社団法人廃棄物資源循環学会の春の研究発表会にて以下の発表を行った。</p> <p>藺島ひとみ (博士前期課程) 「パナマの廃棄物処理とベクターコントロールに関する研究 - 収集作業員のデング熱とジカウイルス感染症を中心として - 」</p> <p>周 可 (博士後期課程) 「ゴミ分別に対する意識とその影響要因の検討 - 中国・長沙市を事例として - 」</p>
<p>6月2日（土） 聖心女子大学</p>	<p>国際開発学会 第19回春季大会にて以下の発表を行った。</p> <p>松島恭範 (博士後期課程) 「農村中小零細ビジネス活動の属性及び諸環境が事業実績に与える要因に係る考察 - ケニア一村一品プロジェクトを事例として - 」</p>
<p>7月11日（水）～ 12日（木） Inntel Hotels Amsterdam Zaandam</p>	<p>Hong Kong Chemical, Biological & Environmental Engineering Society (HKCBEEES) 主催の2018 the 3rd International Conference on Water Pollution and Treatmentにて以下の発表を行った。</p> <p>レティフン トゥルク (博士後期課程) “Willingness-to-pay for Improved Wastewater Services in Ho Chi Minh City, Vietnam”</p>
<p>7月14日（土）～ 15日（日） 愛媛大学城北キャンパス</p>	<p>公益社団法人日本水環境学会主催のWater and Environment Technology Conference 2018 にて以下の発表を行った。</p> <p>レティフン トゥルク (博士後期課程) “Factors Affecting Households' Willingness-to-pay for Improved Wastewater Services in Ho Chi Minh City, Vietnam”</p>

7月21日（土）～ 22日（日） 岡山大学	日本地域政策学会 第17回全国研究大会にて以下の発表を行った。 松島恭範（博士後期課程）「大分一村一品運動の発展途上国への展開に関する研究 - ケニアの事例を中心として - 」
8月23日（木）～ 25日（土） ホーチミン建築大 学	日本都市計画学会他主催のAsian-Pacific Planning Societies 2018 国際会議にて以下の発表を行った。 Madyibi, Yongama（博士前期課程）“Social Housing and Public-Private Partnerships : A Case Study of Port Elizabeth in South Africa”
9月16日（日）～ 21日（金） 東京ビッグサイト	International Water Association（国際水協会）主催のIWA World Water Congress & Exhibition 2018にて以下の発表を行った。 レティフン トウルク（博士後期課程）“Study on Attitudes and Willingness to pay for domestic wastewater services : A Contingent Valuation Survey in Ho Chi Minh City, Vietnam”
11月23日（金） 東洋大学	東洋大学国際共生社会研究センター主催 国際シンポジウム「ラテンアメリカにおけるSDGsの実現に向けてー日本とブラジルの絆」共催
11月23日（金）～ 24日（土） 筑波大学	国際開発学会 第29回全国大会にて以下の発表を行った。 藺島ひとみ（博士前期課程）「熱帯地域における廃棄物起因のベクター発生対策に関する研究ーパナマのデング熱とジカウイルス感染症を中心にー」 松島恭範（博士後期課程）「農村中小零細ビジネスグループの立地地点の地理的環境が事業実績に与える要因に係る考察 - ケニア一村一品プロジェクトを事例として - 」 プリ バクタクマラ（博士後期課程）“Community Development and Microcredit Studies in Nepal”
11月29日（木） 東洋大学	特別セミナー「SDGsと社会的包摂：社会的に不利な状況にいる人のエンパワメント」で以下の報告が行われた。 招聘教授 ビョルン・ヴィンデン教授（オスロ首都大学）「社会的包摂と持続可能な福祉：グローバル社会において相互に関連する二つの課題」 ンゾ・ズキスワ（博士前期課程）「JICAと南アフリカにおける障害者主流化プロジェクト：障害者の持続可能な発展に向けて」

<p>12月8日（土） 東洋大学</p>	<p>日本都市計画学会（アジア・アフリカ都市計画研究分科会）にて以下の発表を行った。</p> <p>プー ソティアロット（博士前期課程）“A Study on the Institutional Framework of Suburban Land Subdivision in Cambodia : the Case of Phnom Penh Metropolitan Area”</p> <p>シムカダ サロズ（博士後期課程）“Land Development Process in Suburban Area in Kathmandu Valley : Toward A Conceptual Framework”</p>
--------------------------	---

国際観光学研究科

【国際観光学専攻】

1月20日（土） 白山キャンパス 1号館	院生発表会（期末） 参加者30人程 修士論文審査
7月21日（土） 白山キャンパス 1号館	院生発表会（中間） 参加者30人程
10月27日（土） 江戸川大学	日本国際観光学会大会 国際観光専攻学生 発表 発表者10人程（含 修了生） 本専攻所属教員も5名程報告
11月17日（土） 白山キャンパス 1号館	院生発表会（中間） 参加者30人程

社会福祉学研究科

【社会福祉学専攻】

1月25日（木） 12：30～16：45 白山キャンパス 8301教室	平成29年度第2回中間報告会 報告者8名 参加者45名
2月19日（月） 16：00～17：50 白山キャンパス 8301教室	FD講演会（社会福祉学専攻主催） テーマ：「大学院指導における大学・学部附設の『研究センター』の役割と可能性」 講演者：埋橋孝文（同志社大学・教授／社会福祉教育・研究支援センター長） 参加者：27名
3月10日（土） 13：00～ 白山キャンパス 6101教室	東洋大学福祉社会開発研究センターシンポジウム テーマ：『－なぜ、つながらないのか？－地域で暮らし、支え合う福祉社会の仕組みづくり』～「つなぐ」ための実践的研究から見えてきた福祉社会開発への視点～ 参加者：120名
4月4日（水） 18：00～ 白山キャンパス 8303教室	新入生ガイダンス
8月4日（土） 13：00～17：00 白山キャンパス 第2会議室	学長施策：東アジア諸国との研究交流公開研究会（WEB 会議システム導入） テーマ：「当事者に寄り添う生活支援システムの現状と課題」 参加者：25名、懇親会
8月5日（日） 10：00～17：00 125記念ホール	第14回東洋大学社会福祉学会（社会福祉学専攻の学内学会） 大会テーマ「社会的マイノリティに対するジェンダー化された支援—現代社会における排除と包摂の課題を考える—」 参加者：80名

8月6日（月） 9：30～11：30 白山キャンパス 8301教室	留学生交流会「先輩からのアドバイス—東洋大学大学院で学んで」 9：30～10：20 茆 海燕（平成29年度 博士後期課程修了 中国）
8月6日（月） 10：20～15：40 白山キャンパス 8301教室	平成30年度第1回中間報告会 報告者8名 参加者55名

ライフデザイン学研究科

【生活支援学専攻】

4月4日（水） 11：30～13：00 朝霞キャンパス 大学院演習室	新入生へコース別ガイダンスを行った。高齢者・障害者支援学コースの新入生は6名、子ども支援学コースの新入生は1名であった。
7月31日（火） 10：00～17：20 朝霞キャンパス 大学院演習室2・3	高齢者・障害者支援学コース（ライフデザイン学研究科・福祉社会デザイン研究科）秋学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生12名、博士後期課程院生9名、専任教員9名が参加し、質疑応答が行われた。
9月22日（土） 14：00～ 朝霞キャンパス 講314教室	ライフデザイン学研究科合同研究発表会が行われ、高齢者・障害者支援学分野からは博士後期課程院生1名、子ども支援学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名、健康スポーツ学分野からはライフデザイン学部生・博士前期課程・博士後期課程院生の計3名、人間環境デザイン学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名が、それぞれ代表して研究発表を行った。各専攻・分野の専任教員も参加し、質疑応答が行われた。

【健康スポーツ学専攻】

<p>4月4日（水） 11：30～12：00 朝霞キャンパス 大学院演習室3</p>	<p>入学者2名（修士課程）を対象にガイダンスを実施した。主に履修登録に関する注意事項、年間スケジュールの確認、連絡先の登録などを行った。</p>
<p>7月25日（水） 15：00～ 朝霞キャンパス 講301教室</p>	<p>本専攻およびヒューマンデザイン専攻健康デザイン学コース第一回大学院中間発表を行った。発表は、本専攻修士課程1年生は発表8分および質疑6分、ヒューマンデザイン専攻健康デザイン学コース博士前期課程2年生は発表10分および質疑8分、ヒューマンデザイン専攻健康デザイン学コース博士後期課程3年生は発表15分および質疑10分とした。</p>
<p>9月22日（土） 14：00～ 朝霞キャンパス 講314教室</p>	<p>ライフデザイン学研究科合同研究発表会が行われ、高齢者・障害者支援学分野からは博士後期課程院生1名、子ども支援学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名、健康スポーツ学分野からはライフデザイン学部生・博士前期課程・博士後期課程院生の計3名、人間環境デザイン学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名が、それぞれ代表して研究発表を行った。各専攻・分野の専任教員も参加し、質疑応答が行われた。</p>
<p>11月14日（水） 16：00～ 朝霞キャンパス 情301教室</p>	<p>健康スポーツ学専攻第二回大学院中間発表を行った。発表は、修士課程1年生が発表8分および質疑6分で行った。</p>

【ヒューマンライフ学専攻】

<p>4月4日（水） 11：30～13：00 朝霞キャンパス 大学院演習室</p>	<p>本専攻新入生5名へ専攻別ガイダンスを行った。</p>
<p>7月31日（火） 10：00～17：20 朝霞キャンパス 大学院演習室2・3</p>	<p>ライフデザイン学研究科・福祉社会デザイン研究科高齢者・障害者支援学コース秋学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生12名、博士後期課程院生9名、専任教員9名が参加し、質疑応答が行われた。</p>
<p>9月22日（土） 14：00～ 朝霞キャンパス 講314教室</p>	<p>ライフデザイン学研究科合同研究発表会が行われ、高齢者・障害者支援学分野からは博士後期課程院生1名、子ども支援学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名、健康スポーツ学分野からはライフデザイン学部生・博士前期課程・博士後期課程院生の計3名、人間環境デザイン学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名が、それぞれ代表して研究発表を行った。各専攻・分野の専任教員も参加し、質疑応答が行われた。</p>

【人間環境デザイン専攻】

<p>9月5日 東北大学川内北 キャンパス</p>	<p>2018年度日本建築学会大会学術講演会において、ライフデザイン学研究科人間環境デザイン専攻博士前期課程1年中馬 亮氏が、主著者として口頭発表を行った。 ”地域住民主体の空き家管理活動の可能性と課題 愛媛県西予市明浜町狩江地区を事例として”、中馬 亮・菅原麻衣子・水村容子</p>
<p>9月22日 14：00～ 朝霞キャンパス 講314 教室</p>	<p>ライフデザイン学研究科合同研究発表会が行われ、高齢者・障害者支援学分野からは博士後期課程院生1名、子ども支援学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名、健康スポーツ学分野からはライフデザイン学部生・博士前期課程・博士後期課程院生の計3名、人間環境デザイン学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名が、それぞれ代表して研究発表を行った。各専攻・分野の専任教員も参加し、質疑応答が行われた。</p>

福祉社会デザイン研究科 (2017年度まで)

【ヒューマンデザイン専攻】

1月23日（水） 16：00～17：30 朝霞キャンパス 大学院演習室	子ども支援学コース修士論文口述試験が行われた。修士論文提出者2名が発表し、その後、教員9名による口頭試問が行われた（論文提出は1月10日締め切り）。教員による鋭い質疑と研究の成果を基にした修士論文提出者の応答が繰り広げられた。
1月30日（火） 15：00～16：30 朝霞キャンパス 大学院演習室6	高齢者・障害者支援学コース修士論文口述試験が行われた。修士論文提出者3名が発表し、教員6名との質疑応答が行われた。
2月15日（水） 10：30～12：40 朝霞キャンパス 大学院演習室	子ども支援学コース修士論文報告会を行い、修了生2名が研究発表を行い、併せて、博士前期課程2年生2名が研究途中経過報告を行った。専任教員7名が参加した。
2月20日（火） 13：00～17：20 朝霞キャンパス 大学院演習室1・2	高齢者・障害者支援学コース秋学期合同研究指導会を開催した。博士前期課程院生7名、博士後期課程院生6名、専任教員7名が参加し、質疑応答が行われた。
3月4日（日） 明治学院大学	3月4日開催の一般社団法人日本社会福祉学会関東部会2017年度研究大会の自由研究報告で、子ども支援学コース博士後期課程2年の麗麗院生が研究報告をした。
5月20日（日） 早稲田大学	子ども支援学コース博士前期課程2名が子どもの権利条約総合研究所研究大会に参加し、博士後期課程2年の尹暁珊院生が研究発表をした。
6月2日（土） 10：00～12：00 文京区音羽地域活動センター	子ども支援学コース ボランティア支援室「シングルマザーフォーラム2017年活動報告会」に博士前期課程院生3人と博士後期課程院生2人が参加した。
6月2日（土） 14：00～17：00 白山キャンパス 6号館	子ども支援学コース 博士前期課程院生2名、博士後期課程院生2名が日本社会教育学会大会に参加した。

7月20日（土）～ 22日（月） 東洋大学 河口湖 セミナーハウス	第8回社会学部サマーレスパイトデイズ活動に子ども支援学コース博士前期課程院生2人、博士後期課程院生1人が参加した（交通費、宿泊費は社会学部予算2018年度社会学部教育・研究活動改革支援「東日本大震災復興支援を継続・発展させる学生の支援活動の開発」から支出）。
7月25日（水） 10：00～12：00 白山キャンパス 浦水会館	モンゴル国在宅障害児支援活動団体の高橋生仁子先生により研究会が行われ、子ども支援学コースの博士前期課程院生2名、博士後期課程院生3名が参加した。
7月25日（水） 15：00～ 朝霞キャンパス 講301教室	本専攻健康デザイン学コースおよびライフデザイン学研究科健康スポーツ学専攻第一回大学院中間発表を行った。発表は、健康スポーツ学専攻修士課程1年生は発表8分および質疑6分、本専攻健康デザイン学コース博士前期課程2年生は発表10分および質疑8分、本専攻健康デザイン学コース博士後期課程3年生は発表15分および質疑10分とした。
7月29日（日） 17：00～19：00 白山キャンパス	浜田進士先生による「子どもの権利による子ども支援の現場と課題」研究会に子ども支援学コースの博士前期課程院生2名と博士後期課程院生7名が参加した。
7月31日（火） 10：00～17：20 朝霞キャンパス 大学院演習室2・3	ライフデザイン学研究科・福祉社会デザイン研究科高齢者・障害者支援学コース秋学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生12名、博士後期課程院生9名、専任教員9名が参加し、質疑応答が行われた。
8月4日（土） 白山キャンパス	社会福祉学研究科 東アジア国際シンポジウムが開催され、台湾・モンゴル・中国・韓国の社会福祉学専攻博士学位取得者のシンポジウムと在学生の交流会に、本専攻子ども支援学コースの博士前期課程留学生2人と博士後期課程院生2人が参加した。
8月5日（日） 白山キャンパス	東洋大学社会福祉学会が開催され、子ども支援学コースの博士前期課程院生2名、博士後期課程院生4名が参加した。
8月19日（日）～ 20日（月） 熱海研修センター	大学院生10名（休学者を含む博士後期課程院生9名、博士前期課程院生1名）、博士後期課程担当教員3名、特別講師1名、修了生等による子ども支援学コース合同指導合宿が開催され、博士後期課程院生による研究発表と、質疑応答が行われた。

9月22日（土） 14：00～ 朝霞キャンパス 講314教室	ライフデザイン学研究科合同研究発表会が行われ、福祉社会デザイン研究科所属院生も参加した。高齢者・障害者支援学分野からは博士後期課程院生1名、子ども支援学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名、健康スポーツ学分野からはライフデザイン学部生・博士前期課程・博士後期課程院生の計3名、人間環境デザイン学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名が、それぞれ代表して研究発表を行った。各専攻・分野の専任教員も参加し、質疑応答が行われた。
9月29日（土） 17：00～19：00 白山キャンパス 甫水会館	子どもの権利研究会で、「社会的養護の退所者支援」について子ども支援学コース博士後期課程3年の田谷幸子が研究報告をし、博士後期課程院生6名、博士前期課程2名が参加。活発的な質疑応答が行われた。教員が2名参加してコメントをした。
9月30日（日） 13：00～16：30 白山キャンパス 125記念ホール	福祉社会開発研究センター第1回シンポジウム「福祉分野におけるICT活用の有用性と課題をめぐって」が開催され、子ども支援学コース博士後期課程院生2名、博士前期課程院生2名が参加した。
11月4日（日） 白山キャンパス 2号館3階 第一会議室	福祉社会開発研究センター主催「文京区子どもを支えるプロジェクトーまちのつながりを考えるー東洋大学・文京区」が開催され、子ども支援学コース博士後期課程院生2名、博士前期課程院生2名が参加した。
11月14日（水） 17：00～19：00 白山キャンパス 甫水会館1階学習室	人間科学総合研究所 モンゴル国の障がい児支援団体との研究会が行われ、子ども支援学コース博士後期課程院生2名、博士前期課程院生2名が参加した。
11月17日（土） 17：00～19：00 白山キャンパス 8301教室	社会福祉学研究科公開特別授業 昭和女子大学元教授 月田みづえ先生により「日本の無国籍児と子どもの福祉」研究会が行われ、本専攻子ども支援学コース博士後期課程院生6名、博士前期課程院生2名が参加した。
12月1日（土） 13：30～16：30 白山キャンパス 第三会議室	子どもの権利条約総合研究所主催、福祉社会開発研究センター後援「福祉と教育の連携・協働にむけて」が開催され、子ども支援学コース博士後期課程院生4名、博士前期課程院生2名が参加した。

12月22日（土） 13：30～19：00 白山キャンパス 浦水会館	人間科学総合研究所と財団法人日本ユニセフ協会が共催した「災害時の子どもにやさしい空間と子どもの心のケア」研修+シンポジウムに子ども支援学コース博士後期課程院生6名、博士前期課程院生2名が参加。
---	--

【人間環境デザイン専攻】

<p>7月7日 東京大学</p>	<p>本田財団が主催するHonda Y-E-S Forum 2018において、福祉社会デザイン研究科人間環境デザイン専攻博士前期課程2年古渡大氏が、Eco-Transportationをテーマとした研究ポスターコンテストで、17件の中から10件のプレゼンテーション対象者に選ばれ、主著者として英語でプレゼンテーションとポスター発表を行った。</p>
<p>8月8日～11日 しあわせの村</p>	<p>福祉のまちづくり学会第21回全国大会において、福祉社会デザイン研究科人間環境デザイン専攻博士後期課程3年高橋未樹子氏が、主著者として口頭発表を行った。 ”車いす使用者用簡易型便房における折戸の有効性について“、<u>高橋 未樹子</u>、高橋 儀平</p>
<p>9月4日～6日 東北大学</p>	<p>2018年度日本建築学会大会学術講演会において、福祉社会デザイン研究科人間環境デザイン専攻博士後期課程3年高橋未樹子氏が共著者となる発表があった。 ”オフィストイレの利用満足度要因におけるジェンダー比較 オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究 その2“、日野晶子・<u>高橋未樹子</u>・岩本 健良・小池 由紀・大出 摩紀</p>
<p>9月22日 14：00～ 朝霞キャンパス 講314教室</p>	<p>ライフデザイン学研究科合同研究発表会が行われ、福祉社会デザイン研究科所属院生も参加した。高齢者・障害者支援学分野からは博士後期課程院生1名、子ども支援学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名、健康スポーツ学分野からはライフデザイン学部生・博士前期課程・博士後期課程院生の計3名、人間環境デザイン学分野からは博士前期課程・博士後期課程院生各1名の計2名が、それぞれ代表して研究発表を行った。各専攻・分野の専任教員も参加し、質疑応答が行われた。</p>
<p>10月22日 日本建築学会計画 系論文集</p>	<p>福祉社会デザイン研究科人間環境デザイン専攻博士後期課程3年高橋未樹子氏が主著者となる下記の論文が、日本建築学会計画系論文集2019年2月第84巻 第756号に掲載予定となることが決定した。 折戸を用いた車いす使用者用簡易型便房の有効性と便房スペースに関する研究“、<u>高橋 未樹子</u>、高橋 儀平</p>